



たまーい

発行
茅野市社会福祉協議会
ボランティア・市民活動センター
☎ 73-4431
<http://www.sharara.or.jp/>

2014年2月1日

平成25年度「ひとにぎりのお米（支援米）」

ご協力ありがとうございました

支援米合計 3020.6 kg・野菜・寄付金など

提供者内訳 グループ等 23団体 個人 72名

受け渡し団体

NPO法人おおぞら（大阪府） [982.6 kg]

SOSネットワークすわ [1180 kg]

岩手県山田町山谷大沢仮設住宅 [225 kg]

ながのパーソナル・サポート・センター [540 kg]

市内生活困窮者 [59 kg] ほか



今年度も多くの方々のご理解とご賛同をいただき、「ひとにぎりのお米（支援米）」活動では、3トンを超えるたくさんのお米をご寄付いただきました。ご協力をいただきました皆さん、本当にありがとうございました。お寄せいただいたお米は、それぞれ支援団体等へ配達・受け渡しを行いました。今後も野宿生活を余儀なくされている方々等を支援するため、活動を続けていきたいと思いますので、みなさんの温かいご支援をよろしくお願ひいたします。本号3ページでは支援米をお渡しした団体から届いたお礼状をご紹介いたします。

支援米をお送りした団体より、お礼状が届きました

東京上野にテント村が出来た時、他人事でない諏訪地域の状況を踏まえ、2008年“SOSネットワークすわ”の活動を始め、相談回数は150回を超える6年目になります。

この間の茅野市社会福祉協議会様よりの多大なご支援・ご協力に心より感謝申し上げます。昨年暮れも、1トンを超える米・野菜などの提供に大変助けられました。「年末年越し村」を12月27日に開催し、雑煮用の切り餅なども用意し訪れた相談者にお渡しすることができました。

「景気は上向き、暮らしは良くなりつつある」との声も聞かれますが、年金の減額、就職難は続き、人間らしく生きるための最後の砦である生活保護制度も改悪される中、相談内容から貧富の格差が益々拡大されている事を実感しています。

引き続き地道な活動を続けていきたいと思います。今後ともご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

SOSネットワークすわ 事務局長 上原和喜

この度は茅野市社会福祉協議会ボランティア・市民活動センターの皆々様、農家の皆々様、被災地支援米をお送り下さり誠にありがとうございます。大沢山谷、仮設暮らしをしている47世帯、大沢保育園に「一握りのお米」運動の趣旨を添え、ボランティアで届けることができました。感謝の気持ちを忘れず、日々暮らしていきたいと思います。

岩手県山田町大沢山谷仮設 福士力千子



ボランティア
市民活動
センター



私たちのまち ボランティア市民活動のちから

ボランティア・市民活動センター運営委員会では、茅野市のボランティア・市民活動を推進していくために、今、どんなことが必要かを話し合い、その意見をセンターの事業に反映させています。
その事業の一つをご紹介します。

今年度のシャララカレッジは『防災・減災』をテーマに全5回の講座を企画しました。これまでに実施された3回の講座それぞれで学んだことなどをご紹介します。

Part 1 今求められる 個人・地域の防災力

講 師：吉田 亮一さん（自治体や学校で防災対策の助言を行う「YY防災ネット」代表。総務省消防庁防災アドバイザー）

- 防災訓練は毎年開催し、地域住民すべてが参加できる工夫を。訓練に参加できない人（家庭）には、自宅でできる訓練を具体的に書いて呼びかける。
また、小・中・高校生にこそ遠慮しないで訓練への参加を呼び掛け、安否報告の役割を担ってもらうことで地域の防災力はぐっと高まる。
○避難所の運営は、地域住民!!運営は、何人が集まってルールを決めるもの。
その時、小・中学生でもごみの分別やトイレの掃除など、できることは沢山ある。遠慮しないでみんなで協力し合う避難所運営を目指そう。
○災害に強い地域社会を作るには、災害への危機感（想定以上の備え）を持つことが必要です。防災は、地域全員の協力が必要です。



Part 2 傾聴活動と日常生活（3.11から学ぶこと）

講 師：内山 二郎さん（フリージャーナリスト。長野市社協「傾聴電話」運営委員長）

- 「聞く」と「聴く」の違いは知っていましたが「訊く」という話は初めてきました。質問の難しさは、ことさらに感じました。
○職業柄、人相手でもあり、同僚との関係づくりなどにも傾聴の仕方が活かせそうだな、と思いました。
○うなづき、表情の大切さを教えていただいた気がします。
○「リフレイン」…ことばを繰り返し言ってもらうと話しやすく、気分も良くなるので活かしていきたいと思いました。
○人に話を聞いてもらうことの大切さが良く解りました。
○どう相手に話してもらうかではなく、寄りそなうことが大事なんですね。



Part 3 地震が起きた!その時、私たちは!? ~東日本大震災で障害のある人の生死を分けたものは何か~

ドキュメンタリー映画「生命のことづけ～死亡率2倍 障害のある人たちの3.11～」鑑賞と語り合い

- 災害の時、命が救われるためには地域とのつながりが不可欠。我が子も小さい頃からの交流があれば良いと思う一方で、障害があるために小さい頃から（学校が別であったりするため）交流が少ない。どうしたらいいか…。
○障害のある人の中に「地区の役員ができないので、区を抜けた」という人がいる。そうしたら、地区の人が冷たくなったという話も…。福祉推進委員や地区社協など組織はたくさんできているので、その人たちに間に入ってもらって“つなぐ”ことが必要だと思う。
○映画にあったように、避難場所が障害者の行きづらい場所になってしまふのではないかと不安。
○個人情報保護法に疑問を感じる。

* * 映画鑑賞ご希望の方は、ボランティア・市民活動センターまでご連絡ください**

今年度、残る2回のシャララカレッジに是非ご参加ください！

Part 4 『私たちのまちから見つめた東日本大震災』⇒詳細は1月15日号の“やらざあ”P4
Part 5 『災害が起きたら 我が家ではどうする?』～自分たちにできること～⇒詳細は次ページをご覧ください。



募集

平成25年度シャララカレッジ Part5

「災害が起きたら我が家ではどうする?」 ～自分たちにできること～



東日本大震災以降、防災への取り組みや被災地への継続支援が呼び掛けられている中、「自然災害や防災」について学び、考え、実行することが、家庭や地域で求められています。

災害や防災について考えることは、大人だけでなくこども達にとっても重要な体験です。小中学生の親子を対象に春休みの時間を利用して「災害」をテーマにしたワークショップや体験を通じ、防災への心構えや他者への思いやりの心を育むことを目的に開催します。

開催日 3月22日(土) 午前10時00分～午後3時00分

場 所 茅野市総合福祉センター 3階第1会議室 ほか

募集定員(対象) 小学生4年生以上から中学生の親子 15組 ≪30名程度≫

講 師 NPO法人東京いのちのポータルサイト監事 中橋徹也 氏

内 容 ①災害クイズ … 「防災力（災害に備える力、そして災害を乗り越える力）」
をテーマにしたクイズに挑戦

②サバイバルチャレンジ … 身の回りにあるもので防災学習を体験

例：防災障害物、水パック消火競争、地震を作ろう 他

参加費 親子ひと組 1,500円 (非常食代、ボランティア行事保険料、資料代 等)

お申込み 茅野市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センターへ電話で
お申し込みください。 電話 73-4431 締切 3月17日(月)



情報ネットワーク

2月

の主な予定

(総合福祉センター使用団体)

ボランティアグループ活動予定

- ★ 第1・3(月) 切手収集整理 (かにさん)
- ★ 第1・3(金) 手話学習 (まほうのことば)
- ★ 第2・4(水) 手話ダンス (千の風)

★ 第2・4(金) 絵手紙交流 (エンジェル絵手紙の会)

★ 毎週(金) いきいきサロン (すずめのお宿)

★ 4日(火) 腹話術 (腹話術友の会)

★ 18日(火) 傾聴 (ひだまり)

24日(月) 園芸福祉 (おひさまクラブ)

25日(火) 点訳 (星の会)

26日(水) テープ吹き込み (ひざしの会)

★ 参加大歓迎 (要事前連絡)



お問い合わせは 茅野市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター (73-4431) まで

一文字で伝えて耳代わりに…

募集!

“要約筆記”講習会のお知らせ

耳の不自由な方で、手話でコミュニケーションをとれる方は、十数パーセントと言われています。要約筆記は、手話がわからない聴覚障害者や高齢者の方に、聞き取った話の要点をその場で書いて伝える通訳方法です。

災害時にも、情報を伝えるのにとても重要な通訳です。要約筆記を利用してみたい方もぜひ参加ください。

日 時 3月4日(火) 午後1時00分～3時00分

会 場 茅野市総合福祉センター3階 第1会議室

内 容 ・聴覚障害とは? ・要約筆記の役割 ・聞こえない疑似体験
・聴覚障害者のお話 ・文字で会話してみましょう!

申 込 2月28日(金) までに、社協ボランティア・市民活動センターへ
電話またはFAXでお申し込みください。

TEL 73-4431 FAX 73-8030

主 催 要約筆記グループ ひまわり



今年も

チャリティーカットを開催します!

毎年、美容室イッピーで開催されている「チャリティーカット」を今年も行います。売上金は全額、社会福祉協議会へ寄付されます。カットを希望される方は事前にご予約をお願いします。

《日 時》 2月16日(日) 受付 午前9時00分～午後4時00分

《料 金》 子どもから大人まで お一人1,000円 (カットのみ)
※シャンプーを希望される方は1,500円

《会場/問い合わせ先》

美容室イッピー 電話 82-1582

茅野市中沖5-13 (ステーションパーク南・カンデオホテル前)

